臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

タラワ、マキン守備部隊
壯烈、全員玉碎す
指揮官は柴崎海軍少將

【東京發至急報】**大本營發表**（十二月二十日十五時十五分）タラワ島及びマキン島守備の帝國海軍陸戰隊は十一月二十一日以來二千の寡兵を以て五萬餘の敵上陸軍を邀撃し熾烈執拗なる敵機の銃爆撃及び艦砲射撃に抗し連日奮戰、我に數倍する大損害を與へつつ敵の有力なる機動部隊を誘引して友軍の海空作戰に至大の寄與をなし十一月二十五日最後の突撃を敢行全員玉碎せり

指揮官は海軍少將柴崎惠次なり、倘兩島に於て守備部隊に終始協力奮戰せし軍屬約千五百名も亦全員玉碎せり

一死以て護國の人柱

【東京發】柴崎少將以下三千の陸戰隊は五日の死闘の後タラワ、マキン兩島を死守、遂に全員玉碎した、十一月十九日以來一物の遮るものなき[illegible]上において敵が集中せる二千二百個の砲彈

七百瓲 の爆彈によりその陣地は粉碎された中に五萬餘の敵上陸部隊を邀へ五日の死闘を續け、われに數倍する大損害を敵に與へその反攻、誘引作戰によつて友軍の海空作戰に至大たる寄與をなし、米國太平洋艦隊の主力に甚大なる損害を與へ無電連絡の杜絶した後にあつてもよくその重責を果し……

守備部隊に物糧投下

定期敍勳

皇軍の勇戰に感銘
獨紙・玉碎部隊勇士を絶讃

傳統て

孤島

機動

兩島陸戰隊の奮戰に就て
精神的戰果は絶大
神州男兒の精華を顯現

大本營海軍部 栗原課長放送

飛行機

タラワ

陸戰隊

司令官

爆彈と

敵陣地

攻撃を

功績は

太平洋

ブエノスアイレス丸撃沈に
帝國政府嚴重抗議
米の野蠻、猛反省促す

抗議

外務當局談

對米抗議全文

認識

十二回目の鬼畜行爲

病院

不法

考察

事實

退却か自滅の運命
緬印國境敵軍早くも混亂

捕捉

侵入

赫々

明白と

最中

偵察

南溟

我が戰車攻撃隊の戰果

魚雷艇二隻を屠る
フインシハーヘン北方

局部長會議

人事

けふの官報

新女苑
一月號（四〇錢）
新生活への指針特輯
ゆく者と招く者 女子勤勞配置座談會
勤勞女性の生活調査
寮母になる人へ
女性にはこれだけの能力がある 古澤嘉夫
保温の科學
綿本と子供
食糧野菜としての郷土食
レオナルド・ダヴィンチ
ブーゲンビル島沖の戰果と（富永中佐）
日本女性語錄
母へ贈る觀音像
長篇 高見順
新載 吉田絃二郎

婦人公論 昭和十九年新年號
皇國の家
家と勤勞女性
家と隣組
留守をまもる家
銃をつくる娘たち・壺井榮
學徒出陣に際し女性におくる・永井瑶
孔雀 周保晃自
映画の觀方 津村秀夫
空は夕燒けて
橋を渡る火 横光利一
綿手本 矢野竜平

臺灣總督府官報
月極購讀 一箇月 四拾五錢
外に月別保存用官報 一冊 金九十錢

婦人倶樂部 新年號 決戰編輯
前線の兵隊さんに雜誌をお送りしませう
北方第一線の娘漁業部隊
精兵をつくる家庭教育
夜襲海戰 ブーゲンビル島沖海戰記
日本婦道記 山本周五郎
御製に拜す臣民の道 淺野晃
強く進む遺族の道
結婚について
海に征く少年兵
決戰型防寒下着
勤勞女性の冬の衛生
冬の婦人子供防空服裝一切
大日本雄辯會講談社

社說

戰爭の原因と動機

最近南太平洋某所で[illegible]となつた一米[illegible]の[illegible]るところによれば、[illegible]原因としてあげて居るとのことであるが、之は既に「[illegible]」として旺に宣傳してゐたのとともに、一應その大きな誤りなる旨を述べて置く必要があらう。

申す迄も無く戰爭には、遠因、近因を含む[illegible]因があり、更に[illegible]があつて[illegible]の運びに至るが、この原因と動機とを混同することは避けねばならぬ。米國と雖もこの[illegible]を知らない筈は無いが、[illegible]を原因とし、眞の原因を蔽ひかくさんとするは、そこに不純なるものが潜在して居ることを意識してゐるからであるとも解される。

◇

そもそも、大東亞戰爭の[illegible]因は[illegible]の場合にあつては過去百年、[illegible]の場合は過去五十年の[illegible]に[illegible]り、その間に起つた諸種の出來事を[illegible]

[illegible]

技術指導態勢成る

增產本部運營方法決る

[illegible]では食糧增產技術本部[illegible]方法を十八日の[illegible]本部第一回打合會に於て左の如く決定、二十日之を發表した、本[illegible]運營方法を指導の企畫と實地指導の二つの面に分けてゐるが、之が運營に際つては指導の企畫に[illegible]があり、[illegible]方面より選ばれた[illegible]を合わせた[illegible]の[illegible]を求め指導の企畫を[illegible]しこの決定に基く實地指導が行はれる[illegible]られるに至つた

本部部員運營方法

第一、指導の企畫

一、必要に應じ[illegible]府に於て全部員又は[illegible]部員の[illegible]を求め指導の企畫に付協議すること

第二、實地指導

一、指導を[illegible]ならしむる爲、一回の指導區域を一市郡乃至二市郡とするを原則とすること

二、一市郡に於ける指導日數は[illegible]一乃至二日程度とすること

三、部員は指導に當り原則として三名乃至四名の班を[illegible]して之をなすこと

四、班の[illegible]は指導事項、指導時期、部員の都合、[illegible]の都合を考慮の上[illegible]府に於て之を決定すること

五、部員は一班一體となりて別に示す[illegible]府の指導方針の範圍內に於て[illegible]に付自己の[illegible]を最大限に活用し[illegible]

六、部員は一市郡の指導を終りたるときは[illegible]

七、部員に特に命令を受けさる場合に於ても[illegible]

【註】[illegible]

全島農試場長會議

新規計畫概要各州より說明

[illegible]

勞務再配置に先驅

增炭に成果愈々擧る

[illegible]

南方自主經濟の確立（一）

不均衡經濟を切替

今や自活體制着々進む

ビルマ

不具狀態から脫出

[illegible]

與へられる諸條件

[illegible]

自活體制着々進行

[illegible]

農業國に相應する統制

[illegible]

樂しいスマトラの夜市

大スマトラの建設に日夜日本官民と協力する原住民に[illegible]

PEMANDANGAN DI
NIPPON

[illegible]寫眞は（上）[illegible]（下）[illegible]

今年も寒い越冬か

敵英國の石炭不足深刻

裏切られた自畫の約束　イギリスが[illegible]

[illegible]

不足の諸因

[illegible]

北港郡硬貨回收還動期間成績啓增

[illegible]

農業會經營に萬全

自治監査設置の必要

[illegible]

公認の產業生命保險協會結成

[illegible]

食糧營團關係法令

けふ閣議上提の豫定

[illegible]

今度も好成績の產組貯蓄

（臺中州下）

[illegible]

本島にも“貯蓄券”

―來年早々登場―

[illegible]

新竹州乾饂飩製造研究會

[illegible]

澎湖廳街庄機構近く改革

[illegible]

七萬郡民あげて堆肥增產

[illegible]

◇獨學でリッパに中學卒業が出來る◇

國民中學講義錄

◎獨學時代來る!!

十六歲で專檢合格
獨力獨行僅か十六歲で專檢・高女試驗に合格した者へ成功の資格を與へさる（獨學者に中學・高女卒業の資格）

會員大募集

無代進呈

今スグ

東京・代々木驛前
大日本國民中學會

◎獨學で完全に高女卒業が出來る

高等女學講義錄

責命製藥の

かぜねつ
頭痛に

ネッサル

本劑は、頭痛、かぜねつ、[illegible]等の症狀を速やかに消散し[illegible]

責命製藥株式會社

はたらく姿より
美しいものはありません。

お肌の爲に　パピリオクレーム

大阪帝國女子藥學專門學校

[illegible]

出願 [illegible]

登山用具一式

臺北市榮町四
臺日運動用品部

戰ふ冬の

氣管支 喘息 咳

家庭常備保健藥

たんせきぜんそく

龍角散

本舖　[illegible]　藤井得三郎商店

大楠公精神に歸依

退藏衣類の更生交換買受部を新設致しました

大楠公精神に歸依　恩威兼ね備ふ武人

人爲り語る　矢野海軍省教育局長

噫柴崎少將

【東京發】柴崎少將と同時に大正元年九月兵學校に入學し同期生として親友の交りを續けタラワ出陣の直前に面接した海軍省教育局長矢野志加三海軍少將は親友の面影を偲びつつ東條兵校の兩時代で柴崎少將について左の如く語った

この度ギルバート諸島タラワ島において壯烈な戰死を遂げられた柴崎少將が指揮官として同島に出發される直前私は折よく面談することが出來、忙しい間にも種々話をしたが思へばそれが最後となつた當時既に太平洋戰線における敵の反攻は漸次熾烈を極めて參つて戰局の前途は容易ならざるを思はせてゐた、このやうな狀況下に太平洋戰線の第一線たるタラワ島へ赴くのであるから少將にも餘程の決心を定められたと見えて「軍人として最前線に御奉公申上げることの出來るは身の面目これに過ぐるものはない、自分は大楠公湊川出陣の心境で出陣するが部下あらば全力を盡して奮鬪するのみである」と悲壯の決意にも悲愴の色を顔にも見せず……

[illegible]

大東亞戰爭戰歿者　臺北市葬

二十四日　新公園で嚴修

勳章傳達式

[illegible]

死所を得て光榮

雄々しく覺悟語る　よし子未亡人

【東京發】世田谷區……柴崎少將未亡人のよし子さん……

[illegible]

戰史に不滅"設營魂"

これこそ忠誠無二　日本人の眞姿だ

金澤海軍施設本部長談

【東京發】……

[illegible]

この忠誠あればこそ　帝國の護りは不動

植松少將　無敵陸戰隊魂說く

【東京發】……

[illegible]

忠魂に應へる途は　戰力增强の實踐のみ

山本皇奉事務總長　島民の總蹶起促す

遂に限りなき中部太平洋の孤島マキン島およびタラワ島のわが守備部隊柴崎海軍少將以下の將兵およびその他軍屬計五千五百名の全員玉碎の壯絕なる大本營發表が二十日ラジオにより突如として一億の耳朶を打つた、彼等よく五倍餘の敵上陸兵を激撃し、……

[illegible]

[illegible]

最前線に活躍する　日赤臺灣救護班

死地に肉親の護り（二）

咄嗟に捨身で患者庇ふ

【東京支社發】＝西南太平洋前線にて森川陸軍報道班員＝昭和十八年十一月十日……

警報

苦痛

重症

彼女

擔架

強心

手術

勇敢

表彰狀

傳染

[illegible]

吾れこそは"櫻花"

臨時陸軍特別志願兵銓衡終る

[illegible]

花蓮港の志願　一萬九千餘名

【花蓮港電話】……

[illegible]

陸相代理弔問

[illegible]

商工經濟會設立準備打合せ

[illegible]

皇軍將兵慰問金（四十一）

五千圓　櫻井信太郎

三百八十四圓十錢

二百十八圓十錢

百十六圓

百六圓

[illegible]

小計金六千六百廿圓九十三錢

累計金卅八萬千三百五十七圓十九錢

臺日案内

タイピスト……

女子……

賄婦……

アザ……

新聞……

守衛……

[illegible]

死藏衣服はないか　島都で『衣服更生相談會』

[illegible]

府指定青年學校研究發表會

【花蓮港電話】……

[illegible]

生徒募集

○商業實踐科一六箇月修了

○製［illegible］科一六箇月修了

○學科目

米英擊滅　女子實踐員養成講習會

○入所資格

○入所試驗　一月二十三日

○學寮完備

臺北市昭和町五ノ六

女子實踐員養成講習所

蟲下し　蛔虫・鞭虫・蟯虫

マクニール

外務　賣家　賣電　賣電　貸電　家具　公用　自由　ラジオとレコード　レコード　結婚　轉宅　陸上　引越　引越　のせ　植木　メガネ　斷食　植木　特許　結婚　衣類　防空　葬儀は

[illegible]

母モヨ儀病氣療養中ノ處一昨十九日午後四時五分死去致候間生前ノ御厚誼ヲ謝シ此段謹告仕候

追而……

昭和十八年十二月二十一日

喪主　鍵山育太郎

鍵山トク

佐々木忠吉

江里口利三郎

江里口德市

矢ケ部輝二

江里口秀一

中島金八

山本常吉

山下網

長女敬子儀病氣療養中ノ處藥石效無ク二十日午前八時死去致候間此段謹告仕候

追而……

昭和十八年十二月二十日

臺北市……

父　松川國雄

母　文子

友人　岡部千葉男

竹下弘

圓部修也

中村喜義

母タメ儀病氣療養中ノ處藥石效ナク昨十九日午後十一時四十分享年七十以テ永眠仕候間生前ノ御厚誼ヲ謝シ此段御通知申上候

昭和十八年十二月二十日

男　前神雄一

故陸軍大尉正七位　近藤正上

故陸軍中尉從七位　池ノ松

故陸軍中尉從七位　友田

故陸軍兵技准尉勳七等　野倉

故陸軍曹長　小崎

故陸軍伍長　福田

故陸軍伍長　山島

故陸軍伍長　國原

故陸軍兵長　脇井

故陸軍兵長　藤良

故陸軍兵長　宮屋

故陸軍兵長　土口

故陸軍衛生兵長　堀

故陸軍上等兵　永戶

故陸軍上等兵　角

故陸軍上等兵　櫻井

故陸軍上等兵　宮崎

故陸軍上等兵　東地

故海軍軍屬　永

故海軍軍屬　村井

故海軍軍屬判任官八等　重橋

故陸軍軍屬　緒信

故陸軍軍屬　大方

故陸軍軍屬　邱見

故陸軍軍屬　周正

故海軍軍屬　歐謝

來ル十二月二十四日午後三時ヨリ於テ前記大東亞戰爭戰歿者及一般市民參列ノ上執行ニ付辱知諸彦ノ御會葬ヲ希望ス

追而……

昭和十八年十二月二十一日

大東亞戰爭戰歿者葬儀委員長

臺北市長　廣谷致員

御會葬御禮　惠谷

會葬御禮　李　李　李

歯科　高嶺醫院　臺北市大和町三

歯科　鎌田醫院　臺北市兒玉町三ノ八

歯科　須永醫院　臺北市末廣町一ノ一

退藏衣類の更生交換買受部を新設致しました

◎我が家のムダは國のムダ　節約するだけ國が富む

右て節約！左て增産！

◇時局柄衣類の新調は出來るだけ見合せませう

◇そして退藏衣類を更生して使ひませう

◇退藏衣類の不用な方は不用な方へお互ひに交換致しませう（御交換の日取は御知らせ致します）

◎不用な長袖は切りませう

圖長袖退藏衣類を更生すれば餘りが出ます

圖模樣紋付を更生すれば

圖通常衣類を更生すれば

圖帽子が出來ます

古座布團古布團丹前の綿も致します

御一報次第御伺ひ致します

臺北市榮町二丁目

（裏口）都通り

株式會社　松井

代表　松井猪兵衛

生かせ轉廢業の人材

軍隊式に編成合宿訓練

【花蓮港電話】[illegible]に花蓮港廳では勞務[illegible]の[illegible]を期して[illegible]（假稱）を結成、卽ち[illegible]勞務者の[illegible]を全からしめんとするもので[illegible]に於けて[illegible]勞務者[illegible]を採り、之が[illegible]に[illegible]者を主體とした[illegible]勞務者を打つて一丸とする[illegible]を軍隊式に編成、一定期間合宿訓練を行ひ[illegible]の[illegible]、心身[illegible]をした後[illegible]に於て[illegible]と[illegible]先を[illegible]察してそれ〴〵の[illegible]に充て[illegible]如何によつては一部を[illegible]は土工に[illegible]せしめ[illegible]の勞務[illegible]に[illegible]しむるもので[illegible]の[illegible]下に[illegible]の期待がかけられ各方面から[illegible]されてゐる

高砂義勇隊合同葬

武藤正利君の外〇〇柱

【屏東】今次[illegible]するや[illegible]に[illegible]ゆる[illegible]はこの時とばかり高砂同[illegible]の米英撃ちてし止まんの[illegible]烈たる[illegible]は降魔の[illegible]を取つて立たしめ高砂義勇隊として山なす波濤を乘り越えバタン半島、コレヒドール[illegible]並に人跡未踏のニューギニヤ[illegible]に文[illegible]運搬[illegible]兵の後[illegible]等に[illegible]々たる不滅の武勳を[illegible]て高砂義勇隊の武名を天下に[illegible]かし[illegible]くも南方第一線に於て名譽の[illegible]死並に[illegible]死した故[illegible]武藤正利君外〇〇柱の[illegible]に[illegible]する高砂義勇隊屏東本部合同葬儀は十八日午前十時より屏東郡サンティモン[illegible]年道場に於て[illegible]に[illegible]よりいとも[illegible]かに[illegible]行はれた式場正面に設けられた祭壇には[illegible]と共に勇士の英姿が安置され[illegible]は[illegible]大臣、[illegible]、參謀總長、[illegible]官より贈られた多數の花環、供物を以つて埋められた式は祭典委員長[illegible]上郡守の[illegible]式の辭に始まり各[illegible]の[illegible]に次いで[illegible]上郡守、[illegible]〇〇部隊長小林[illegible]代理、[illegible]代理等の[illegible]共に下の[illegible]あり[illegible]大臣、[illegible]方面より寄せられた[illegible]があつて祭主委員長、[illegible]代理、[illegible]官民代表の[illegible]あつて同十一時半[illegible]の[illegible]に終了した

故寺平中尉以下の高雄市葬

【高雄電話】今次[illegible]に[illegible]として[illegible]く護國の英靈[illegible]中尉寺平一[illegible]以下八柱の[illegible]を悼ふ[illegible]市葬は二十日午後四時より市役所前廣場に於て[illegible]代理[illegible]田[illegible]務局長、[illegible]府司令長官代理[illegible]首席[illegible]、知事代理[illegible]部長、[illegible]司令官、上[illegible]官長、石井[illegible]官、補田[illegible]分會長、日[illegible]本部[illegible]代理[illegible]部長、[illegible]

谷崎孝吉氏

名譽の戰死

【屏東】屏東市幸町一九六番地[illegible]工[illegible]谷崎孝吉氏（[illegible]）は今次[illegible]するや皇軍の一員として[illegible]の大任をおびて昭和十七年〇月[illegible]、[illegible]、フイリッピン攻略戰並に南方第一線〇〇附上陸作戰に[illegible]、[illegible]に[illegible]く赫々たる武勳を建てて[illegible]くも名譽の戰死を[illegible]

宜蘭賞賜物件傳達式

【宜蘭】故[illegible]三等兵[illegible]中松[illegible]一君及び[illegible]一等兵[illegible]山七五三市君に對する賞賜物件傳達式は二十日午前十時より市民公會に於て左の如く[illegible]された

勳八功七　故中松[illegible]一　妻　中松　ひさ

[illegible]　[illegible]山七五三市

何でも來い、獻金彈丸

國あつてこその生命だ、[illegible]はその生活力の限りを盡して彈丸を前線に送つてゐる、この[illegible]の行爲は敵反攻の呼號と共に昂つてゆく、[illegible]は今やこの[illegible]には必ず勝ち拔ける、との[illegible]を固めつつ、悠々泰然としてその[illegible]に一路邁進してゐる、精神的にも經濟的にも[illegible]たる[illegible]力をもつて[illegible]何でも來いの氣概に充ち充ちてゐるのである、全島各地に寄せる國民的[illegible]の[illegible]は前線の[illegible]を[illegible]に染むるからくれなゐの[illegible]をなしてゐる

嘉義　【嘉義】市內榮町七ノ三[illegible]氏は十七日[illegible]先から[illegible]したところ[illegible]のうち（[illegible]）九五九〇[illegible]一等に[illegible]、獻金として[illegible]

[illegible]つて留守中に[illegible]びとんでみたので[illegible]市役所に出頭[illegible]、軍人援護會[illegible]分會、[illegible]に各二百圓を[illegible]、[illegible]して[illegible]させた

豐原　【豐原】豐原郡[illegible]國民學校第二學年[illegible]

家庭

決戰年末に備へて

能率的な實生活の改革

氏家壽子

時間の繰廻しかた

きびしき歳下、家をまもるものも日増しに多忙を加ねますのは當然の事と思ひますが、この場合、この忙しい一家の主婦が大に追はれて居ては申し譯ない。出來るだけ能率を上げて國家[illegible]の御用に立て得ますやう萬全を期致しませう

×

何と云つても時間を有効に使ふのには[illegible]よりか、豫め段取りを行つ方が良い譯です。時間表等作つても決してその通り行くものではない。突發的な事が多いと仰有る方が澤山ありますけれども[illegible]に出て來る事に身を任せたなら、お金と同じで一つ一つは決して無駄に使つたのでないけれ共總體何に要つたのか解らない、そして跡形無くなつてしまうた。ほんとうはもつと大事な使ひ途があつたのにと云ふ事に終つてしまふのです

時間の割當は[illegible]や[illegible]の時間等、若くは時間表の様には參りません。家生活の實状に卽しませんからです。家庭の時間割は大まかに要點をきちんと定めて仕舞ふ事が必要でせう

起床、食事、就寢、之に續いて入浴、食事用意片附、子供達の復習、掃除、裁縫の主な事は大體中心になり、其日のやうに必ずある事ですから生活の區切になります

一度家族で集つてよく相談して、この時間を定めてしまひます

平日と休日とは違へて置きます。家族共通のものを大體にして、銘々はその中心點を動かさない程に自分達の時間を豫定して織り込みます

時間割を作つて苦情が起り、やがて崩れるのはこの通り行かない人がある故です

一應に相談してもその通り出來ないのは多く突發事の爲ですからこの場合にもその時の人まかせにせば良いのです

食卓の用意が出來てから皆を呼び集めたり待ち合つたりするほど非能率的なものはありません。時には何度もお汁を溫め直す[illegible]の無駄、勞力の無駄を生じます

時間割は極大まかにそして要所をくつきりと作り皆で支へて行きます

さがしものをせぬ

小さい時間の失はれて行く事が一番惜く殘念です。就中探し物は勿論無駄となります、[illegible]ない浪費です

之に對して[illegible]二つの方法を考へます

その一

容れた場所を明記する事が肝要です。容れるには整理する場合になるべく新しく設へ付ける場合によく考へて最も適當な位置に容器を用意します、一旦納めたら度々氣紛れに取り替へぬ事として容れた所を明記します

押入の外側とか近くの壁、抽斗の表等に大きさを添へ見た目にも佳い紙を貼つて何と何があると云ふ事を[illegible]と記して置きます、[illegible]

[illegible]

その二

使つたら必ず元に戻す習慣の養成が大切です。[illegible]

[illegible]

忘れない爲に

[illegible]

歩行の困難な病者

志願兵體格受驗に出頭

[illegible]山郡下の[illegible]志願兵は[illegible]一五、八三七名[illegible]志願したが第一次銓衡で五、三九七名だけ[illegible]つたのでこれらに[illegible]し去る十三日[illegible]を皮切りに二十日終了の[illegible]定で[illegible]課長が[illegible]官となり[illegible]が補助官[illegible]、[illegible]吏員、國民[illegible]員、[illegible]各[illegible]長等が[illegible]助の下に[illegible]、口頭試問等を行つたが[illegible]

[illegible]

花蓮港廳林務

行政を一元化

【花蓮港電話】政府の行政[illegible]により[illegible]になつた、花蓮港山林[illegible]所の[illegible]行政は[illegible]に一元化され花蓮港廳[illegible]課分掌と[illegible]をぬり替へた[illegible]山林[illegible]所に二十日林[illegible]引繼しを終へ[illegible]を强化して[illegible]を開始したが、[illegible]時下の[illegible]資林や木炭等の[illegible]出に一段と拍車がかけられよう

銅門社忠魂碑

除幕式を擧行

【花蓮港電話】[illegible]の戰死者高砂族男[illegible]の忠勇義烈をとこしへに[illegible]へる花蓮郡銅門社の忠魂碑除幕式は十九日午前十時三十分より[illegible]長代理[illegible]田[illegible]課長、[illegible]市長、佐野花蓮郡守、[illegible]長、[illegible]等の[illegible]に擧行、花蓮郡守の[illegible]長（代讀）市長の祝辭[illegible]があり式後は[illegible]一入[illegible]く十一時過ぎ式を閉ぢて[illegible]、[illegible]祖靈等お山の同胞にはたのしく[illegible]い一日であつた

[illegible]子さんは[illegible]から[illegible]つた小遣を[illegible]に貯金してゐたが先生から[illegible]時局の話を聞きこれでも[illegible]の役に立つならと[illegible]

[illegible]の戰死した[illegible]宅に[illegible]があつたが、同氏は屏東[illegible]である、[illegible]に[illegible]は妻スミさんと二人の遺兒がある

魂を以て魂を訓育

若櫻は斯く鍛へられる

【嘉義】[illegible]の若櫻はかうして鍛へられるのだ——志願兵訓練所教育參觀會をあまねく[illegible]させるため[illegible]府[illegible]兵志願者訓練所、皇奉共[illegible]の[illegible]が十九日午後七時半から嘉義市公會堂でひらかれた、[illegible]所側から五十君所長、[illegible]はじめ[illegible]士出身の第二回[illegible]了生十五名、地元から[illegible]嘉義市[illegible]、[illegible]男女青年團員、同[illegible]者、本島[illegible]ら[illegible]二百餘名が相會し、[illegible]六箇月の訓練で本島青年を[illegible]の[illegible]にまで仕上げる訓練所の生活とはどんなものかについて語りあつた、若櫻はどうして鍛へられるかの話を拾つて見よう

五十君所長　は[illegible]嘉義市[illegible]代理の挨拶の後をうけて訓練所生活を一通り說明した上「一言にしていへば訓練所教育は魂を以て魂を訓育するといふことにつきる、つまり身を忘れ、家を忘れて

默つて大君　のため死ねる大和魂を叩きこむことにあるのだ」と言葉を結んだ、[illegible]志願兵をおくり出すため、また來る徵兵制[illegible]の日にそなへるため

その主な點を拾ふと

一、**精神力の養成**　について[illegible]なる精神力は最後のしかも[illegible]の[illegible]を[illegible]ずや[illegible]れてのちも[illegible]まないといふ精神、これが日本精神であり、大和魂[illegible]人精神の[illegible]

二、**體力の養成**　について[illegible]訓練所における生活[illegible]滿足すべき[illegible]などは[illegible]る、本島青年が一般的に[illegible]力、[illegible]力、[illegible]力が內地[illegible]てゐるから[illegible]精神力の[illegible]と共に正[illegible]、[illegible]たより之を[illegible]して行くことが[illegible]

三、**學力について**　國語の[illegible]は[illegible]に大和魂をひらく[illegible]の[illegible]だ、國語を[illegible]せずしては日本精神を[illegible]する道はあり得ない、[illegible]に[illegible]なる[illegible]の大切なることは[illegible]の[illegible]生が[illegible]しく[illegible]

四、**內務教育**　について[illegible]所では生[illegible]の[illegible]について[illegible]かく[illegible]するか、一般[illegible]も早く內地式[illegible]に[illegible]れることが[illegible]の[illegible]

五、**その他**　[illegible]を[illegible]ために[illegible]は[illegible]に心配をかけることなく、一意[illegible]に[illegible]すべきであらう、また[illegible]から[illegible]兵を出したことは大いに[illegible]ではあるがそのために[illegible]を[illegible]するが如き[illegible]の[illegible]はどこまでもあつては[illegible]らないのである

[illegible]

新化　【新化】[illegible]玉川[illegible]氏は國土防[illegible]の必要を[illegible]し[illegible]したる[illegible]金[illegible]

淡水　【淡水】[illegible]〈第一回[illegible]金附[illegible]〉[illegible]

臺東　【臺東】[illegible]分會では大[illegible]

[illegible]

徵兵制へ私の決意

大戰二周年青年大會臺中

【臺中電話】[illegible]臺中市青年[illegible]大會は十八日午後二時より[illegible]

[illegible]

青年の錬成

臺南皇奉で懇談會

【臺南電話】皇[illegible]臺南市支會では二十日午後七時三十分市公會堂に於て[illegible]

[illegible]

牛も增産戰士

婦女子牛耕競技會

【[illegible]】[illegible]

豐原　【豐原】[illegible]

十粁の行軍を敢行

高雄郷軍分會査閱實施

【高雄電話】[illegible]

高雄港海振興會社

倉庫竣工式

【高雄電話】[illegible]

おサツ一億斤生産

臺東廳獎勵の柔二萬枚

【臺東】[illegible]

東亞海運汕頭所

長山邊氏榮轉

【[illegible]】[illegible]

澎湖の防犯

强調週間

【[illegible]】[illegible]

美しい日本語

南方生活體驗から

吉[illegible]格

[illegible]

×　×　×

[illegible]

×　×　×

[illegible]

ラジオ

第一放送

[illegible]

第二放送

[illegible]

赤誠の獻金品

海軍武官府扱（第十一月二十日）

國防獻金　[illegible]

椰子

(124)

海野十三作　村上松次郎繪

南洋にて（五）

帆村は、たえがたい焦燥をうひにおさへつけて、問題のブローチを身につけた婦人が、用達をすませて引返してくるのを待つことにした。それは一旦擱へた小鳥を手から放すやうな殘念さと心配とがあつた。

だが、この上この婦人に[illegible]心を起させてはならないと思つたので、さうするより外なかつた。

その婦人は、青いパラソルをかざし、椰子並木をゆつくりと歩いていつた。

帆村は、椰子の根に腰を下ろして、パナマ帽で、胸に風を送つた。

「何といふことだらう。あれが[illegible]だつたら、これほど幸運なことはないかな」

だが、本當に[illegible]だらうか、こんな南洋で[illegible]されるなんて、誰がわからない。やつぱりあれは偶然の暗合といふやつだらうか。

まあいい、そんなことを考へるのは、後でもいいのだ。さつき今のところは、あのブローチを本物の[illegible]として取扱ふことだ。どうしたらいいか。

帆村は[illegible]をとんとんと[illegible]と立上ると、[illegible]さつき休憩していてみたが、そのうちにひよんとたぶのあるところまで驅け出した。そこで彼は、さつき[illegible]を呼んで、一つの用事をいひつけ、金を與へた。マリオは[illegible]を揮して、お辭儀をした。そして店の奧へ入つた。

それから暫らくすると、脇に[illegible]の衣の帯をまいた若い原住民がとび出してきた。彼の手には、帆村がマリオに渡した名刺が握られてゐた。

「いそいで頼む。五分間くらゐしか、時間がないぞ」

「大丈夫です」

原住民の若者は、カナカ語でこたへて、帆村の前を走り去つた。

ちやうど五分の後に、かの若者は戻つてきた。小脇に、彼の[illegible]を抱へてゐた。

「これですか」

「さうだ、ありがたう」

帆村は、この若者に、[illegible]の金をはづんだ。帆村はそれを抱へて、先の年若い婦人と約束した地點まで引返した。

待つほどに、はるか向かふの町角にかの婦人の姿が見えた。

帆村に到近寄つた。

「おや、誰か連れがゐるぞ」

その婦人よりすこし離れて、一人の男がついてゐた。白い背廣にヘルメットを被つてゐる。やつぱり日本人らしい。

「誰だらう。邪魔な者がついてきたぞ」

帆村は舌打ちした。

彼の目は、かの年若き婦人の胸にそそがれた。

ブローチがなくなつてゐる！

と、彼が叫んだとき、かの婦人の胸の上に、きらりとブローチが光つた。

「失敗つた」

「なあんだ、待かせて……」

帆村は、ほつと息をついたが、そのあとに、もう一つの思ひがけない出來事が、彼を待つてゐた。

南方特産パパイン製剤
カネボウ消化胃健錠
食慾増進
消化促進
一〇〇錠入 二圓〇〇
二〇〇錠入 三圓八〇
[illegible]

漢方散藥
婦人美宝散
女一生の衛生宝典
女だけの話
[illegible]

割増金附勸業債券
昭和18年12月　日本勸業銀行
[illegible]

頭痛にノーシン

生徒募集
同志社女子專門學校
[illegible]

健康報國
戰時だ働かう！
强力なる殺菌殺蟲
消毒・防臭劑
ワーミン
芳香油
特許第一六〇四號
全國各藥店にあり
代理店　東京堂藥局
臺北市建成町參丁目
[illegible]

今日の映画
大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　大平館　第三世界
基隆劇場
中央劇場　基隆世界　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座
全州合同興業會
新竹の映画　新竹劇場　有樂館
國際館
[illegible]

特許　新炭九割節約
保熱カマド
[illegible]

夕刊
臺灣日日新報

中支軍前線部隊に 有難き聖旨を傳達

將兵一同一死報國誓ふ

【中支前線○○二十日發同盟】[illegible]中支軍は、[illegible]、○月○日前線將兵[illegible]、現地作戰軍首腦部[illegible]將兵にこの有難き聖旨を傳達するとともに、十六日○○基地において謹んで東方を遙拜[illegible]將兵一同[illegible]一死報國の誠を致さんことを誓ひ[illegible]

決戰行政の飛躍期待

あす臨時地方長官會議招集

【東京電話】大東亞戰爭第三年を迎へた政府は米英撃滅必勝の決意[illegible]臨時地方長官會議は愈々二十二日首相官邸に召集されることとなつた[illegible]

悽絶ギ諸島の血戰

皇軍の敢闘に米將兵戰慄

[illegible]

戰艦 [illegible]

實數 [illegible]

悽絶 [illegible]

一歩 [illegible]

上陸 [illegible]

叩き [illegible]

接近 [illegible]

緬印戰線頓に緊張

印度國民軍精鋭國境に集結

大東亞展望

【東京電話】**重慶第六戰區崩潰寸前** [illegible]

緬印戰線の緊張 [illegible]

緬印戰線空の決戰 [illegible]

自由インド軍の整備進む 自由インド假政府ボース首班は[illegible]

ソ聯への迎合頻り

英國の弱體化愈よ顯著

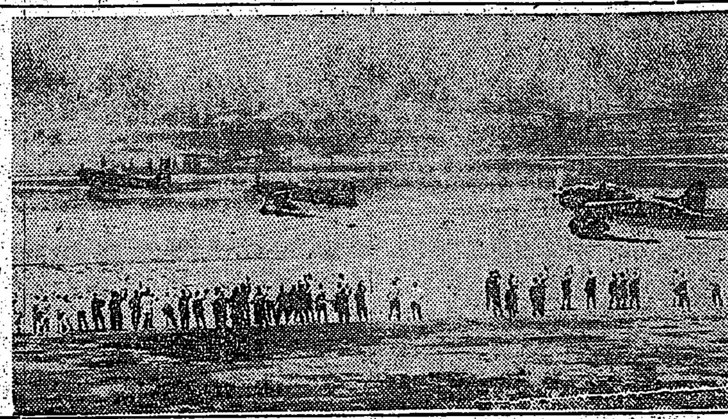
國際展望

【東京電話】テヘラン會談は[illegible]

△ソ聯の動き テヘラン會談に於ては[illegible]

△英國の態度 [illegible]

△米國の感情 [illegible]



燃え滾る闘魂に砂塵を捲き上げ 敵撃滅に出撃する海鷲

（海軍報道班員撮影＝海軍省許可濟第一〇一號）

敵戰闘機十機撃墜

陸鷲マーカズ岬上空に出撃

【南太平洋○○基地二十日發同盟】去る十五日ニューブリテン島マーカス岬に一部の敵上陸を敢行するや同地守備のわが陸軍部隊はこの敵を邀撃して連日激戰中であるが、陸軍航空部隊も十六、十七、十八の連日に亘り同方面に出動上陸せる敵に猛攻を加へこれに大なる損害を與へる等同地守備隊の戰闘に協力してゐるが、この間十六日にはマーカス岬西北方約三十粁ソウレン上空において敵P38十六機と交戰その四機を撃墜した、又十八日には同じくソウレン上空においてP38二十機と交戰その六機を撃墜した、又十九日午前十一時半にはマーカス岬上陸地點を爆撃これに大なる損害を與へて全機無事歸還した

海鷲敵陣地猛爆

【南太平洋○○基地二十一日發同盟】十七日未明わが海軍部隊はトロキナ岬方面の敵陣地を急襲その他の敵陣地三個所に大火災を生ぜしめわが方全機無事歸還した、又十七日夜わが海軍部隊はニューブリテン島マーカス岬沖ピロ島の敵陣地を爆撃四個所を爆破炎上せしめた

增産に次ぐ增産

努めてもなほ足らず

決戰地方長官に聽く【五】

臺中州知事 森田俊介氏

[illegible]

眞劍 [illegible]

戰爭 [illegible]

火砲 [illegible]

食糧增產供出運動

要綱決定全國的に展開

【東京電話】[illegible]

一、「[illegible]」

（一）米、麥、甘藷、馬鈴薯[illegible]

（二）[illegible]

（三）米、麥、甘藷、馬鈴薯[illegible]

（四）米、麥、甘藷、馬鈴薯[illegible]

[illegible]

法院人事異動

[illegible]

内閣辭令

【東京電話】[illegible]

茨城縣第一區衆院補缺選擧

【水戸電話】[illegible]

柴崎惠次少將略歴

[illegible]

伊戰線の戰況

【ベルリン十八日發同盟】D・N・B通信社特派員ブレグナーは十八日イタリア戰線の戰況を次の通り報じてゐる

[illegible]

東部戰線戰況

【ベルリン十九日發同盟】[illegible]

獨空軍大編隊 東部戰線攻擊

【ベルリン十八日發同盟】[illegible]

人事

[illegible]

頭痛に ノーシン
[illegible]
大阪市東區内平野町二丁目

全陸組必携
主婦之友
新年號 ★いよ〳〵 近日發賣
品不足につき今すぐお近くの書店へ御連絡ください（定價 四十錢）
防空必勝の訓練 指導 西部軍司令部參謀 角良晴中佐
空襲下の救護（赤十字社指導）
空襲下の乳幼児對策……
婦人防寒勤勞服と子供服
産業婦人の監督者座談會
母の戰果 吉川英治
挺身隊 櫻田常久
ブーゲンビル海戰
交換船 大佛次郎
勝たずばやまじ 松村大佐

胃腸を整へて
消化力を增し
榮養を充實する
資生堂の
強力ビタミンB₁
ハイガ
一錠中B₁十七γ含有
三〇〇錠入・一圓二十九錢

浮腫と便秘
ビタミンBの大量補給が頗る効果的！
姙婦や弱い御婦人方に最も多い浮腫と便秘の治療は〔わかもと〕の最も得意とするところです。錠剤の有力なるビタミンB₁B₂複合体が新陳代謝を促進すると同時に腸管の蠕動を整へるからで、決戰下の多忙な御婦人方の保健劑として廣く愛用されて居ります。
不眠症
貧血に
空瓶はぜひ薬店へ！
ビタミンB₂倍增に成功！
錠劑 わかもと
一日一錢
東京 わかもと本社

涙せよ、女性のこの強さ

勇士思へば後退できぬ　壯、血判の歎願

鈴木部隊長殿　歎願書　大和をみな最前線へ！　日赤臺灣救護班

【東京支社發】現地部隊の賞心こめた歎願が原紙によつて、この兵站病院のあとに最前線へ際起して征つた將兵は今まで幾十人幾百人あつたらう、これら將兵から命の親としての感謝状や――

神の　如き救護を感謝した手紙が常に兵站病院長である鈴木中佐の机上に山積してゐた、九月中旬突如日赤社より救護班に對し交替の内命が届けられた

（惜しいせめてあと半年でも）

鈴木中佐は此の病院に勤務してゐる優秀な救護班を手離したくはなかつた、それは單に中佐の希望であり病院としての希望に過ぎなかつた

「私達は暫く此の土地にも慣れ兵隊さんも馴染になつて、これからと張切つた時に後方へ下るのは殘念です」

「二年兩國の看護婦の誇りをもちました後方病院は、前線の兵隊さんが非勃するのと同じです、せめて第一線野戰病院へ進出させて頂けないものでせうか」

彼女　たちは後方勤務を口惜しがつた

「たとへ空襲が激しくとも私達が此の病院に止まつてお國の勝ち抜いた兵隊さん達を戰列に送り返す、殊に私達看護班は兩方の勇士に對して江南へ忍ぶだけの協力を持つてゐる皆です」

交代ならば交代陣持、後方勤務上りも前線へ、彼女達の熱意は一致

した、十月初め中原婦長が彼女達を代表して院長鈴木中佐を訪れ、救護班員一同の意志であるとて口頭をもつて右の旨を歎願した

「私達にとつて最前線で働かして頂くことが無上の光榮である」と共に戰陣に生き甲斐のある生活で、今更後方勤務など考へて居りません、殘念されて來る傷病の兵隊さんがたを見ますと、どんなに苦労を忍ねていらつしやるかと私達は戰場で胸せまり同時も泣けるのでございます、ソロモン、ニューギニアの野戰病院への進出が許されないのでしたら、せめて日赤の最前線で

ある此の病院で今暫く働かせて頂きたいとお願ひ申し上ぐる次第でございます」

そして彼女達は一日千秋の思ひで中佐の

回答　を待つたが幾日經つても部隊長殿はお忘れになつてゐるのではないかしら

「部隊長殿はお忘れになつてゐるのではないかしら」

「お忙しいので遅れるのでせう」

日は一日一日と過ぎて行く彼女達はあせりながらも待つてゐた、新くする中に一部傷痍は交替し始めた班員たちは氣が氣でない、命令が至達すれば是が非でも後方へ[illegible]

[illegible]しなければならないのである

「口頭では私達の眞實の氣持を聞き届けて下さらないのかも知れない」

「では書面で」

彼女達の決心は固かつた

「前線であんなに苦労してゐる兵隊さんのことを思へば」

男勝　りの強い決意が血判としての誓ひと歎願の薄を見出すことが出來ない

十月二十四日彼女達の誓ひが血判歎願書となつて桜田、田中兩婦長の手から鈴木中佐の手許へ提出された

歎願書

鈴木部隊長殿

昔ながら[illegible]申上げます、此度本部隊派遣救護班の移動に就ての儀でございます、先般來より救護班役方面の噂をかねがね耳に致して居りましたが、去る二十一日傳聞、新國の兩共組實に吉野丸乗船致せし由、又赤根組には北流道、青森の混合班到着を向ひ、私達救護班にも近く移動あるとの噂と存じて、常に一段奮念に思ひ、是非部隊長殿の尽き御格けにおすがり申上げ、一同要心

[illegible]

日本[illegible]

【寫眞は血判嘆願書を提出した日赤臺灣救護班】

烈々、赤誠を顯現

七十五萬九千餘若人

志願兵

[illegible]の道、行け國の御楯、と二十年振りからの陸兵制度施行に際し陸軍特別志願兵志願者の勇躍に、ドット起ちあがり、アッツ島、タラワ島、マキン島の壯烈玉碎部隊の忠烈にこう闘魂、燃えあがる赤誠をもつて去る一日募集開始以來、五日目に早くも五十四萬八千百十七名に達し、次いで十日目には六十九萬百五人、十五日目に更に七十三萬千七百九十四名と漸増の一途を辿り、勝ち抜く聖戰の募集を完遂させて居たが、最終日の二十日には遂に七十五萬九千二百七十六名と言ふ驚異的數となり、苛烈なる決戰下、前線將士の忠誠に應へる本島同胞の烈々たる赤誠を力強く具現した、因に

陸軍特別志願兵志願者總數並に各州廳別左の如し

州廳別	總數	內譯 本島人	內譯 高砂族
臺北	一一八、五一六	一一七、六八三	八三三
新竹	一〇八、四三五	一〇六、八一一	一、六二四
臺中	一八五、五四六	一八三、〇〇三	二、五四三
臺南	一八〇、七四二	一八〇、四三五	三〇七
高雄	一二七、六〇四	一二四、八一三	二、七九一
臺東	一一、七〇七	一〇、〇一三	一、六九四
花蓮港	一九、二三三	一六、四八八	二、七四五
澎湖	七、四九三	七、四九三	―
合計	七五九、二七六	七四六、七三九	一二、五三七

もののふと俱に戰はん

壯烈、玉碎、設營隊

讃へよ大和男子の最後

技術大尉談

【東京發】太平洋決戰の碑となつたギルバート守備隊の現出を同方面に九箇月滯在した〇〇技術大尉に聽く

ギルバート諸島は一般に地勢が低平で海面上僅々六米平均海抜から滿潮までの高が一杯を越へることも稀な細長い珊瑚礁からなつてゐる、自分はマキン、タラワ兩島で暫らく玉碎部隊と生活を共にしたがタラ[illegible]

[illegible]

不斷の[illegible]

夜間[illegible]

玉碎軍屬愛唱の歌

唱和せよ　銃後一億

【東京電話】この度のタラワ、マキン兩島守備隊の玉碎に將士と共に壯烈鬼神も哭く最期を遂げた軍屬設營隊の勇士こそ文字通り「一億國民皆兵の魁」の合言葉を具現し悠久の大義に生抜いたのだ、これら千五百の設營隊員が肝心、臨時にあつて明け暮れ愛唱したといふ左の如きタラワ、マキン設營隊の歌が玉碎直前潔く施設本部に到着した施設隊中に收録されてあつた、噫必勝の信念に燃え敵を撃ちてし止まむの一聯に銃後の我等一億も隊員諸氏の壯烈に應へて高らかに唱和しよう

一、神州男子數あれど
　昭和の御代に選ばれて
　歴史を創する大戰に
　召勤共み我等ゆく

二、正義に敵するものあれば
　破邪顯正の神劍あり
　唯必勝の念に燃え
　撃ちてし止まむ一筋に

三、太平洋の洋心に
　國の御楯と出で立ちて
　難攻不落の要塞を
　我等が手にて築くべし

四、東亞と祖國を雙肩に
　君國に殉ゆるこの秋に
　上下心を一にして
　尊き使命を果たさなむ

勇士散華

大東亞戰爭の為各地に轉戰[illegible]田中、野々木各部隊の[illegible]勇士の氏名が二十一日原隊より左の通り發表された、一億國民はタラワ、マキンに散つた四千五百の勇士とともに、これら壯烈勇士の忠魂に應んで敵米の醜を撃ち懲さう

戰死　伍長大竹[illegible]（本籍[illegible]）

戰病死　[illegible]田中[illegible]（[illegible]）大溪町上等兵有江[illegible]（[illegible]）[illegible]上等兵前田[illegible]

盡忠の赤誠溢る

內地學徒の出陣に劣らず

臺灣學徒志願兵銓衡に當つた村上少將談【東京支社特電】十三[illegible]

[illegible]

“逞しい決戰意慾”

在京臺灣學徒　志願兵検査感想

西村文教局長

（東京支社特電）[illegible]

成績[illegible]

誠に[illegible]

萬全[illegible]

輸送の困難を自白

マーカス岬上陸の米軍

【東亞支局電】アメリカの[illegible]

基隆への日婦慰問班

[illegible]

坂口知事視察變更

坂口臺北州知事は二十一日金瓜石[illegible]

臺北南署の異動

臺北南署では七日附を以て左記人事異動があつた

警部　內田[illegible]　警部　野田[illegible]

司法主任[illegible]

“米英撃滅責任在我”

若き學徒、血書の志願！

[illegible]「米英撃滅責任在我」[illegible]

軍屬募集

[illegible]

一、[illegible]

二、[illegible]

蔣介石チャーチル意見相違を露呈か

[illegible]

第四回馬來語講座

[illegible]

珍らしい動物

動物園のおぢさん　海南島のお話

[illegible]

◇…それから一寸[illegible]

演劇挺身隊の獻金

[illegible]

獻金

【花蓮港電話】[illegible]

高雄港灣振興倉庫上棟式

[illegible]

西川純氏

[illegible]

感謝貯蓄八十三萬餘圓

【花蓮港電話】[illegible]

今夜の番組

（第一放送）▲六・〇〇[illegible]

[illegible]

綠水軍（38）

村松梢風作　中一彌畫

來島（六）

[illegible]

電話　化強の齒　アカネ齒磨

安産のために　ワタカルシューム錠

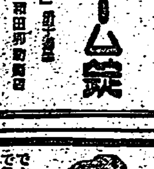
結核患者に快報！　努力三十年・遂に完成す　結核專門藥　効能　肺結核　肺尖加答兒　肋膜炎　腺病　15日分　¥.00　☆ノスリ　はホシ　製藥株式會社

榮養・消化　アイオミン　錠　虛弱體質　妊產婦榮養　乳幼兒榮養　消化不良　便秘　下痢　イナハタ　販賣元　稲畑產業株式會社　大阪市

結核　免疫治療劑　A-O　アーオー　結核檢診　適應症　虛弱體質、潜伏結核、肺尖加答兒、肺門浸潤、肺結核初期、結核疑症、肋膜炎、腹膜炎、外科結核、眼結核　製造元　有恩研究所　販賣元　須美商店

ニキビ・ソバカス　シミ・ナマズなどが　ニキビ痕や傷痕　色黒や油顏　美科學研究所

腎臟病に　ピグシン　臨床實驗上確認された理想的利尿劑

「夜尿症」が治つた話